

当月のS&P MLP 指数の動き

10月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比-0.6%と2カ月連続での下落となりました。

月初は、中東情勢の緊迫化を受けて原油価格が上昇する中、MLPは上昇基調となりました。しかしながら、その後は、中東情勢の緊張感の和らぎを受けて原油価格が軟調に推移したこと、そして、米金利の上昇などを受けて米国株式が下落したことなどから、MLPは下落基調となりました。

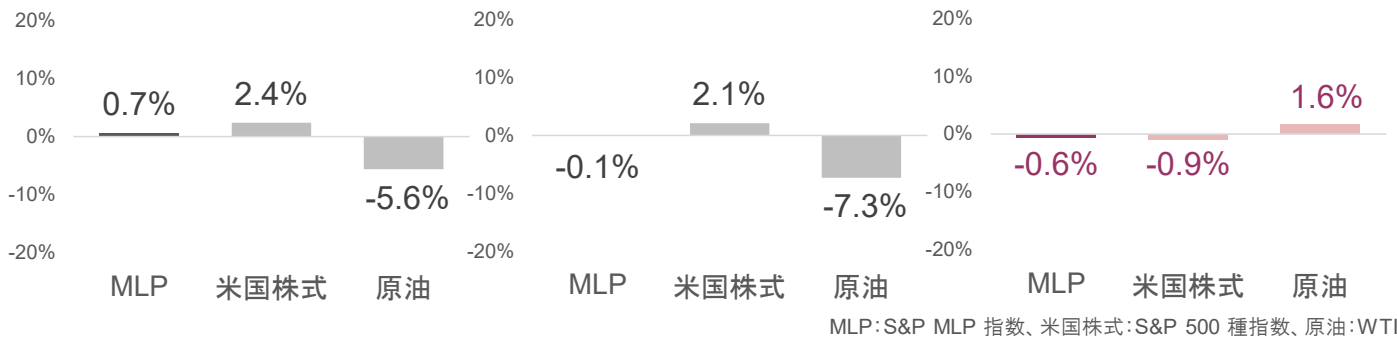
過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)

2024年8月

2024年9月

2024年10月



主要指標の動き

| 休場の場合は、直前の営業日のデータを使用 | 指数値 | 指数値 | 指数値 | 指数値 | 騰落率 | | |
|--|------------|-----------|-----------|------------|-------|---------|-------|
| | 当月末 | 前月末 | 3カ月前月末 | 前年末 | 前月末比 | 3カ月前月末比 | 前年末比 |
| | 2024/10/31 | 2024/9/30 | 2024/7/31 | 2023/12/31 | | | |
| S&P MLP 指数(米ドルベース) | | | | | | | |
| トータルリターン | 8,731.27 | 8,780.19 | 8,735.02 | 7,384.81 | -0.6% | -0.0% | 18.2% |
| プライスリターン | 1,662.09 | 1,682.39 | 1,695.51 | 1,500.43 | -1.2% | -2.0% | 10.8% |
| S&P 500種 指数(米ドルベース) | | | | | | | |
| トータルリターン | 12,493.74 | 12,608.07 | 12,052.09 | 10,327.83 | -0.9% | 3.7% | 21.0% |
| プライスリターン | 5,705.45 | 5,762.48 | 5,522.30 | 4,769.83 | -1.0% | 3.3% | 19.6% |
| S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース) | | | | | | | |
| トータルリターン | 1,550.62 | 1,538.50 | 1,608.23 | 1,419.77 | 0.8% | -3.6% | 9.2% |
| プライスリターン | 681.25 | 676.47 | 712.42 | 640.05 | 0.7% | -4.4% | 6.4% |
| S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース) | | | | | | | |
| トータルリターン | 1,893.75 | 1,950.92 | 1,786.47 | 1,686.38 | -2.9% | 6.0% | 12.3% |
| プライスリターン | 368.88 | 380.48 | 351.16 | 338.75 | -3.0% | 5.0% | 8.9% |
| 米国ハイイールド債(ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース)) | | | | | | | |
| トータルリターン | 1,708.58 | 1,718.04 | 1,663.94 | 1,590.32 | -0.6% | 2.7% | 7.4% |
| プライスリターン | 69.52 | 70.28 | 68.80 | 68.29 | -1.1% | 1.0% | 1.8% |
| 米国10年国債利回り | | | | | | | |
| | 4.28% | 3.78% | 4.03% | 3.88% | 0.50 | 0.25 | 0.40 |
| 原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり | | | | | | | |
| | 69.26 | 68.17 | 77.91 | 71.65 | 1.6% | -11.1% | -3.3% |
| 天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり | | | | | | | |
| | 2.71 | 2.92 | 2.04 | 2.51 | -7.4% | 33.0% | 7.7% |
| 米ドル(対円) | | | | | | | |
| | 152.03 | 143.63 | 149.98 | 141.04 | 5.8% | 1.4% | 7.8% |

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

当月の出来事いろいろ

- 3日、イスラエルがレバノンの親イラン民兵組織ヒズボラへの攻撃を続ける中、イスラエルによるイラン石油施設への攻撃を支持するかとの記者団の問いかけに対し、バイデン米大統領が「それを我々は検討中だ」と回答した。中東情勢の緊迫化懸念などから、原油先物が急伸した。
- 4日に米国で発表された9月の非農業部門雇用者数は前月比+25.4万人と、予想を大きく上回り、6ヵ月ぶりの高い伸びとなったほか、横ばい予想だった失業率は低下、平均時給は前月の伸びを上回った。11月の大幅利下げ観測が後退する中、米国債利回りは上昇、米国株式も上昇した。
- 7日、パレスチナ自治区ガザのイスラム組織ハマスがイスラエルを奇襲攻撃して1年が過ぎたが、イスラエルがレバノンの親イラン民兵組織ヒズボラを攻撃対象に加えたほか、イランとの対立が深まる中、イスラエルがイランの石油インフラを攻撃するとの観測が強まるなど、中東情勢の一段の悪化が懸念された。また、米南部における大型ハリケーンの影響が懸念されたことから、原油先物が続伸し、ニューヨークでは8月26日以来の高値で引けた。
- 15日、イスラエルのネタニヤフ首相が、同国によるイラン攻撃に際し、石油・核施設は標的とせず、軍事施設を対象とする可能性があるとの報道を受け、原油先物が大きく下落した。
- イスラエルが26日、イランによる1日のミサイル攻撃への報復として、同国の軍事施設を攻撃したのに対し、イランの最高指導者ハメネイ師は27日、軽視も誇張もすべきでないと言ったが、反撃については言及しなかった。28日には、両者の対立激化がいったん回避されたとの見方から、原油先物が急反落した。米国株式は、中東の地政学リスクへの懸念が和らいだことや原油安などを背景に上昇した。

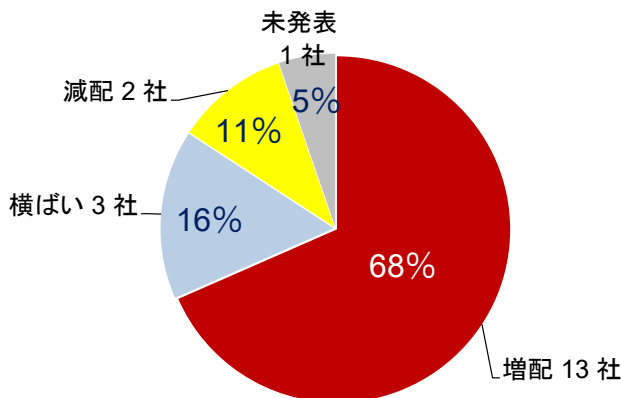
今後の注目点

- 2024年7-9月期のMLPの決算発表が注目される。

MLPの分配金動向

MLP各社は決算発表に先立ち、その期の分配金を発表するのが一般的です。10月から公表が始まっているMLPの2024年7-9月期の分配金は、指数構成銘柄(19銘柄、2024年9月末時点)のうち、**18社の発表が終了しており、前年同期比での増配が13社、横ばいが3社、減配が2社**となっています。

<S&P MLP 指数の構成銘柄*の分配金額(前年同期比)の動向>
2024年10月末現在 * 2024年9月末時点

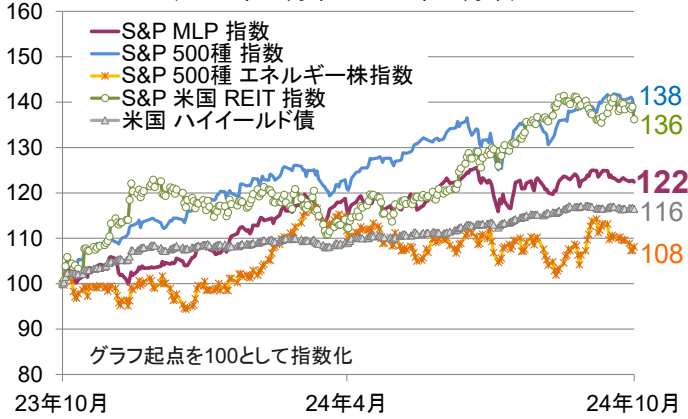


※ 左記の数値は四捨五入の関係で合計が100%と異なる場合があります。

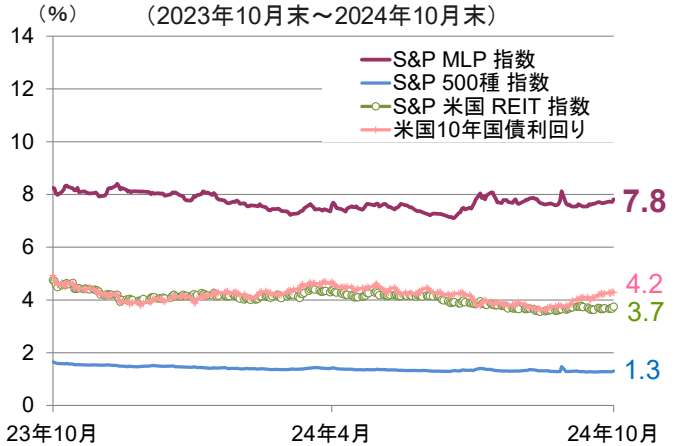
(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)
(2023年10月末～2024年10月末)



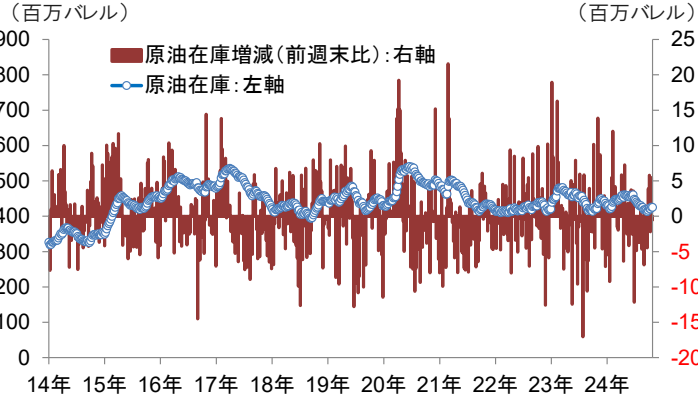
■過去1年の各資産の利回り
(2023年10月末～2024年10月末)



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

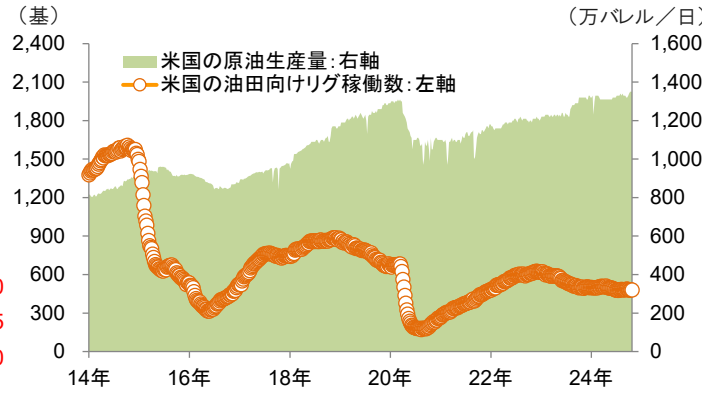
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2024年10月第4週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

(2014年1月第1週末～2024年10月第4週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和と懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2024年10月末)



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。